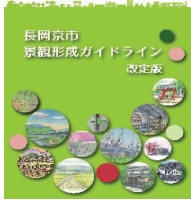


分野	54	都市景観	通番 135
施策	541	良好な景観の保全	
5年後の目標		西山から市街地への緑の流れが活かされ、市民や事業者とともにつくっているまちのたたずまいに、市民や訪れる人がやすいでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	都市景観形成事業		会計	款	項	目	298,935	都市計画課
			一般	8	4	1		
事業の概要								
「長岡京市景観計画」はステップアップの時期に来ており、良好な景観を守り、創出するため、計画を見直し、重点地区の指定や地域特性に応じた基準を設定します。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	「長岡京市景観計画」の内容見直し				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成20年策定	目標	重点地区の指定及び地域特性に応じた基準の設定	公共施設景観形成方針等の検討及び審議	新景観計画の策定(「長岡京市景観計画」の変更)	新景観計画に基づく景観形成ガイドライン改訂の検討	新景観計画に基づく景観形成ガイドライン改訂
		実績	重点地区の指定及び地域特性に応じた基準の検討	公共施設景観形成方針等の検討及び審議	新景観計画の策定(「長岡京市景観計画」の変更)	新景観計画に基づく景観形成ガイドライン改訂の検討	新景観計画に基づく景観形成ガイドライン改訂
	・新景観計画の景観形成基準について、基準の考え方や実際の行為届出事例を参考に写真やイラストを用いて分かりやすく解説するガイドラインの改訂を行いました。					景観形成ガイドライン改定版	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—		—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新景観計画に基づく景観誘導を行う中で実際の届出行為事例を参考に、各項目ごとに分かりやすい解説や例示をしたガイドラインの改訂を行うことができました。 	
課題等	・新景観計画による運用を開始している中で、細かな部分での基準見直しが必要となってきています。				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・引き続き、新景観計画や景観形成ガイドラインに基づき景観誘導を図るとともに、必要に応じて景観計画並びにガイドラインの改訂を行います。

分野	54	都市景観	通番 136
施策	541	良好な景観の保全	
5年後の目標		西山から市街地への緑の流れが活かされ、市民や事業者とともにつくっているまちのたたずまいに、市民や訪れる人がやすいでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	西国街道整備事業		会計	款	項	目	0	道路・河川課
			一般	8	2	2		
事業の概要								
長岡京市の歴史・文化を発信した西国街道を、歩きやすく安全で安心できる道路空間として確保するとともに、歴史建造物等との調和する道路景観とするため、石畳風の舗装整備を実施します。また、既存の石畳も計画的に改修を行います。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	市南部地域における西国街道石畳風舗装整備率(総延長810m)				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成28年度 新規事業	目標	37.0	65.0	100	—	—
		実績	38.8	94.0	94.0	94.0	94.0
・調子1丁目地区(市道第4079号線)の西国街道は、残りの整備区間である約50mについて、地元及び関係機関との協議が進まないため未整備となりました。					石畳風舗装 調子1丁目		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—		—
C (評価)	達成度合 (80%~100%程度)	達成状況	・道路整備は地元及び関係機関との協議、調整に時間を要し、残り50mの区間について未整備となりましたが、整備率は94%のため、この事業の成果は一定得られたと判断しています。		
	課題等	・石畳で整備した市道第4021号線の西国街道北部地域(馬場・神足地区)は、石畳の破損や劣化等による市民からの苦情も多く、管理上の課題や安全の確保の観点から再整備が必要です。			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	・安全性や経済性を考慮し、改修に向け地元と調整しながら、長岡京市景観計画に基づく旧街道軸で、景観に配慮した石畳の再整備を行います。